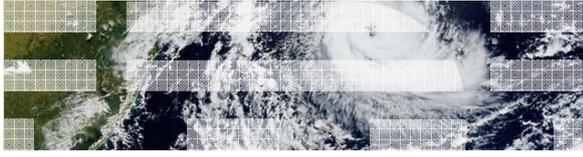


IBM

開発&テスト・クラウドの導入による、迅速な テスト環境構築と運用コストの削減

日本アイ・ビー・エム株式会社
GBS ET&A 先進テクノロジー
太田健一郎

2011/01/26



© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM

アジェンダ

- 開発とテストの課題とクラウド活用のメリット
- Smart Business開発 & テストクラウドの特徴
- デモ

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM

開発とテストの課題と クラウド活用によるメリット

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM

開発・テスト環境の高コストと低使用率が原因で、クラウド・コンピュティング・ベースのソリューションを検討する必要性が生じています

従来型の開発・テスト環境での一般的な課題は次のとおりです

- テスト・サーバーの使用率が本番サーバー等他の用途に比べ非常に低い
- 代表的な IT 環境の中の相当数のサーバーをテスト専用にする必要がある
- テストを実行するために使用可能な IT インフラ・リソース (ソフトウェア・ツールやプラットフォーム) への即時アクセスを必要としている
- 開発・テスト用のサーバーやソフトウェアを調達するプロセスが広範囲に及び、複雑である

- テスト・バックログが非常に長い。多くの場合、新しいアプリケーション導入の遅延における単独かつ最大の要因となっている。
- テスト環境は高価でビジネス価値をほとんど生み出さないと捉えられる傾向がある
- テスト環境の誤った構成による障害のリスクが高い



© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM

開発・テスト機能をクラウド環境に移行すると、大きなメリットを得られます

機能	移行前	移行後
サーバーおよびストレージの使用率	10 から 20%	70 から 90%
セルフサービス	なし	あり
テスト・プロビジョニング	数週間	数分間
変更管理	数カ月間	数日間または数時間
リリース管理	数週間	数分間
課金または請求	固定コスト・モデル	細分性が高い
標準化	複雑	セルフサービス
新しいサービスの導入期間	数年間	数カ月間

既存の開発およびテスト環境 → クラウド環境

クラウドは幅広い分野でビジネス価値を迅速にもたらします

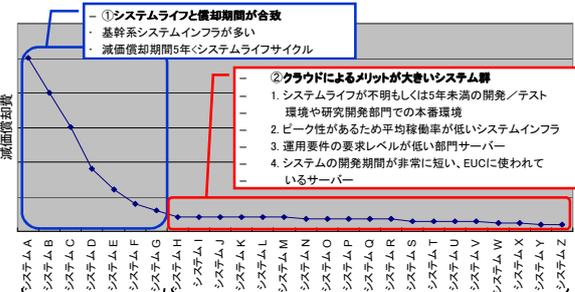
クラウド対応の開発・テスト環境

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM

減価償却費に着目した企業内ITシステムの分布と調達方法



① システムライフと償却期間が合致
・ 基幹系システムインフラが多い
・ 減価償却期間5年<システムライフサイクル

② クラウドによるメリットが大きいシステム群

1. システムライフが不明もしくは5年未満の開発/テスト環境や研究開発部門での本番環境
2. ピーク性があるため平均稼働率が低いシステムインフラ
3. 運用要件の要求レベルが低い部門サーバー
4. システムの開発期間が非常に短い、EUCに使われているサーバー

-70.30 システム名 -30.70 (コスト対システム数)

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM Smart Business 開発&テスト・クラウド・サービスは、コスト削減、品質改善、新規アプリケーションの市場投入までの時間短縮に役立ちます



IBM が提供するクラウド・コンピューティングは以下の点でお客様を支援します。

- IT 人件費を 50% 以上削減 - 構成員の人数が減り、インストール・コストが発生しないため、ソフトウェア開発とテスト環境のプロビジョンを行うためのコストと時間を削減します
- 弾力性に優れた開発・テスト環境への迅速なアクセスを通して、資本支出をほぼなくし、ソフトウェア・ライセンスの大幅節約を実現します
- 開発・テストのプロビジョニング・サイクル・タイムを数週間から数分に短縮でき、市場に出すまでの時間が迅速化するため、イノベーションに費やせる時間が長くなります
- 欠陥のある構成に起因する全障害の 30% 以上なくして品質を改善し、標準構成はリスクの削減とサービス品質の向上に役立ちます
- 事前構成済みの IBM Rational® 開発者グループ・ツールとベスト・プラクティスが組み込まれているため、より効果的な開発が可能になります
- 大規模なソフトウェア実装のガバナンスを改善してリスクを軽減します

IBM の Technology Adoption Program の結果に基づいています。お客様固有の環境は、投資収益率分析の後でのみ判明します。

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

適用分野 (Target Workload) とお客様 (Segment)

- ケース1**
 - 適用分野: アプリケーションの開発・テスト
 - 対象とするお客様: ソフト開発・テストを業務とするお客様
 - IT 子会社、ISV、Sler
 - Value Proposition: 環境構築の迅速化、サーバーコストの削減、開発機の削減
- ケース2**
 - 適用分野: アプリケーションの開発・テスト
 - 対象とするお客様: Rational のユーザー、特に Agile 開発を行っているお客様
 - Value Proposition: プライベートで開発していたお客様に立ち上げ時などの対応としてパブリックを提案
- ケース3**
 - 適用分野: Tier-4 アプリ: 企業内の Long tail アプリケーション
 - 部門アプリケーション、部門サーバー統合、一時的な社内利用、その他
 - 対象とするお客様: セクターの IT 部門、LOB
 - Value Proposition: 運用管理コストの削減、運用管理からの解放
- ケース4**
 - 適用分野: 新規ビジネスの立ち上げ
 - 対象とするお客様: ビジネス・ケースが不透明な新規ビジネスを抱えるお客様
 - Value Proposition: 初期投資の抑制、需要が急速に伸びた場合への Flexible な対応、新規マーケットへの参入・立ち上げ

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

その他の適応分野

- ケース1**
 - 一時的なシステム利用 (定常利用は On premise)
 - システム開発 / 移行時: 移行作業 / テスト環境の提供
 - 稼動中システムのバージョンアップ
 - 本番前の試行システム、サイト
 - プロジェクトチーム用システム (情報共有ファイルサーバー、etc)
- ケース2**
 - 利用率の低いアプリケーション、EUC 用のインフラ
- ケース3**
 - CO2 排出量規制対策
 - 東京都などの規制対策
- ケース4**
 - Pre-Sales 時のツールとして利用
 - デモ、TIKI 的に提供など

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

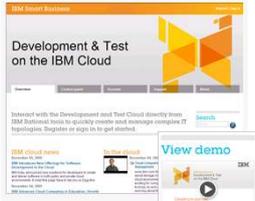
Smart Business 開発&テストクラウドの特徴

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

「IBM Smart Business 開発&テスト・クラウド・サービス (SBDTC)」

IT 基盤に柔軟性が要求されるケースで、迅速な環境準備とコスト削減を実現するためのクラウド環境を提供します



ソリューションは以下を提供します

- 9 つの仮想サーバー構成からの選択肢
- プライベート、イメージ・ライブラリーの作成元となる事前構成済みソフトウェアの選択肢
- 永続ストレージのブロックを追加するオプション
- VPN/VLAN オプション
- サポート・オプション、フォーラム、電話によるサポート
- DC サイトの選択 (現時点では米国とドイツ)

下記の支払いオプション:

- 使用量に応じた支払い
 - 仮想サーバー、ソフトウェア・イメージ、固定 IP アドレス (1 時間当たりの使用量に応じて課金)
 - 永続ストレージ (1 時間当たりのブロック単位)
 - インターネット・データ転送 (転送済み GB 単位)
- 優先料金設定がある予約容量パッケージ

【サービス提供サイト(クラウド・ウェブ・ポータル)】
<http://www.ibm.com/cloud/enterprise>

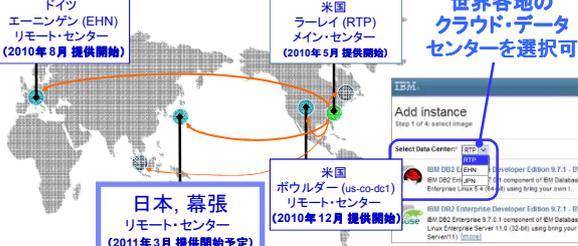
【サービスの詳細情報】
<http://www.ibm.com/services/jp/index.wss/summary/its/g724818u82838j04>

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

世界中の IBM クラウド・センターを統合、選択可能

グローバル規模でのサービスを実現



ドイツ エーニンゲン (EHN) リモート・センター (2010年8月 提供開始)

米国 ラーレイ (RTP) メイン・センター (2010年5月 提供開始)

米国 ボウルダー (us-co-dc1) リモート・センター (2010年12月 提供開始)

日本、幕張 リモート・センター (2011年3月 提供開始予定)

世界各地のクラウド・データセンターを選択可

北米・欧州など27カ国で、展開済み

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM 企業向けクラウド・オフリング体系

発表済み 発表予定

IBM 企業向けクラウド・オフリング体系

- クラウド事業戦略立案コンサルティング / クラウド適用戦略立案コンサルティング
- クラウドインフラストラクチャー・ストラテジー&デザイン

Smart Business オフリング

解析 コラボレーション 開発 テスト アセット/プラットフォーム コンピューティング ストレージ

Smart Business on the IBM cloud パブリック・クラウド

Smart Business Services プライベート・クラウド

Smart Business Systems クラウド・システム

Smart Business Development and Test Cloud

Smart Business Desktop Cloud

Smart Business Storage Cloud

Smart Analytics System

Smart Analytics Cloud

Smart Analytics System

CloudBurst™

Information Archive

クラウドを変えるインフラストラクチャーサービス

- Tivoli® Live – モニタリングサービス
- データセンター・ファシリティー
- ネットワークアプリケーション・オプティマイゼーション・サービス
- Application & Network Performance Optimization for Cloud Computing

クラウドを変える製品・テクノロジー

- Tivoli Service Automation Manager
- Tivoli Provisioning Manager
- WebSphere® Cloudburst アプリケーション
- Rational Policy Tester
- Preventia® GV1000
- マネージド・デベロップメント・サービス
- Managed Security Services
- Scale Out Network Attached Storage
- IBM Systems (System z®, Power Systems™, System x®, BladeCenter®, System Storage®)

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

IBM は、プライベート・クラウド・コンピューティングから「on the IBM Cloud」まで、幅広い選択肢を提供します

IBM Smart Business 開発 & テスト・クラウド サービスの発行リリース

プライベート 共有 パブリック

1 企業 データセンター
プライベート・クラウド

2 企業 データセンター
マネージド・プライベート・クラウド
-IBM による運用

3 企業 ホストされたプライベート・クラウド
-IBM が所有・運用

4 企業 A 企業 B 企業 C
共有クラウド・サービス

5 エンド・ユーザー A B C D E
クラウド・サービスへのパブリック・アクセス

プライベート・クラウド

- IBM によるお客様設備での実装
- お客様固有のワークフローに合わせて構成可能
- 社内ネットワーク
- お客様による実行と管理

共有

- IBM が所有および運用
- リソースに対する企業専用アクセス
- 共有設備およびクラウド管理
- 標準化
- ネットワークの分離

パブリック

- IBM が所有・運用
- 共有リソースの混合
- 共有設備
- 強力性に優れたスケーリング
- 使用量に応じた支払い
- サポートおよびネットワーク・オプション

現在、IBM で未提供

- 共有リソース
- 強力性に優れたスケーリング
- 使用量に応じた支払い
- エンド・ユーザー・アクセス (クレジット・カード)

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

SBDTICの特長

分単位で開発・テスト環境を用意できます

使いやすいセルフサービス・ポータルにより、必要なセットアップがガイドされ、お客様の仮想サーバーの自動プロビジョニングが起動されます。

必要なサービスをクリックして選択します

ハードウェアと使用の構成を選択します

仮想サーバーのプロビジョニングが行われ、実行する準備ができました

ステップ 1

ステップ 2

ステップ 3

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

SBDTICのしくみ概要

USラード IDC

Webポータル

グローバル・クラウド管理機能

IBM NW

現地PoD(ドイツ、日本...)

展開先クラウド管理機能

仮想リソース

仮想リソース

VM for A

VM for A2

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

【参考】仮想マシンのプロビジョニング手順

- Portal画面にLogin (IBM IDを利用)
- センターのLocationを選択
 - 現時点では、RTP(米国、ラーレー)、us-co-dc1(米国、ポウルダー)、または EHN(ドイツ、エニンゲン)の3ヶ所
- イメージ・カタログを選択 (OSのみ or OS+MW)
- 仮想マシンのスペックを選択 (銅、ブロンズ、シルバー、ゴールド、プラチナ)
- 有効期間を指定
- 認証キーの設定
- VLANの設定 (Public or Private)
- IPアドレスの指定 (Dynamic or Static)
- Persistent StorageのMount pointの指定 (Persistent Storageは事前に定義しておく)
- Submit

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

SBDTICの特長(1)

お客様のニーズに最適な仮想サーバー・インスタンスのサイズを選択できます

仮想マシンオプション	32ビット構成				64ビット構成				プラチナ
	銅	ブロンズ	シルバー	ゴールド	銅	ブロンズ	シルバー	ゴールド	
仮想CPU (1.25 GHz)	1	1	2	4	2	2	4	8	16
仮想メモリー(GB)	2	2	4	4	4	4	8	16	16
仮想ディスク(GB)	60	175	350	350	60	850	1024	1024	2048

- 仮想サーバーはインテル®アーキテクチャベースです。
- プロビジョニングは、クラウド・ウェブ・ポータル上で、仮想サーバー構成とOSとミドルウェアを組み合わせたイメージ・カタログを選択して実施します。
- プロビジョニング先のIBMクラウド・データセンターを選択可能です。
- イメージを1つの仮想マシン構成で作成して、異なるサイズの構成にマイグレーションできます。

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

SBDTICの特長(2)

標準イメージによって、すぐに使用可能で安定したIT基盤を提供します
お客様独自の環境構築のベースとなり、開発・テストの所要時間を短縮します

【サポートされるミドルウェアおよびオペレーティング・システム】

下記の IBM ミドルウェア

Lotus software

WebSphere software

Information Management

Tivoli software

Rational software

32 ビットおよび 64 ビット OS

- SUSE Linux Enterprise Server (SLES)
- Red Hat® Enterprise Linux® (RHEL)
- Windows Server 2003/2008

19 © 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

多様な SWイメージのライセンス・モデル

お客様のシナリオ	ソフトウェア 課金
<p>BYOL</p> <p>お客様所有の IBM ライセンスを使用 Bring your own IBM license: お客様が IBM ソフトウェア・ライセンスを所有しており、ポータル・カタログに記載されている事前構成済みの IBM イメージを使用できる場合</p>	<p>お客様が別途ご購入</p>
<p>PAYG</p> <p>従量制の課金 Pay as you go: お客様が必要なソフトウェアを選択してオンラインでライセンス条件に同意し、毎月請求書を受け取る場合</p>	<p>従量課金</p>
<p>BYOSL</p> <p>お客様所有のソフトウェアおよびライセンスを使用 Bring your own software and license: お客様が有効なライセンスを所有しているソフトウェアおよびライセンスを使用し、プロビジョニングするサーバーにそれらをインストールする場合</p>	<p>お客様が別途ご購入</p>
<p>DUO</p> <p>開発者専用 Developer use only: お客様が適切な ISV/SI デベロッパーであり、お客様が IBM Cloud に関する開発、テスト、Proof of Concept、および販売デモのために、IBMソフトウェアを使用する場合</p>	<p>別途申請により無償</p>

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

【参考】提供SWイメージとLicensing Models: 継続して拡張予定 (1/3)

SW Image Description	Licensing Model			
	BYOL	DUO	PAYG	Pre-Release
SWG INFORMATION MANAGEMENT				
IBM DB2® Enterprise Developer Edition 9.7.1	X			
IBM DB2 Express® -C 9.7			X	
IBM Informix® Dynamic Svr Develpr. Ed. V11.50 Developer Edition RHEL 5.4			X	
SWG LOTUS®				
IBM Lotus Domino Enterprise Server V8.5.2		X	X	
IBM Lotus Forms Turbo 3.5.1	X	X	X	
IBM Lotus Web Content Management 6.1.5, 7.0.0	X		X	
IBM Mashup Center V2.0	X	X	X	

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

【参考】提供SWイメージとLicensing Models: 継続して拡張予定 (2/3)

SW Image Description	Licensing Model			
	BYOL	DUO	PAYG	Pre-Release
SWG RATIONAL				
IBM Rational Build Forge® 7.1.1.3 (CIサーバー)	X			
IBM Rational Build Forge Agent 7.1.1.3	X			
IBM Rational Quality Manager SE 2.0.1 (テスト管理ツール)	X	X		
IBM Rational Reqmnt Composer 2.0.0.1 (要求開発ツール)	X			
IBM Rational Team Concert™ 2.0.0.2 (チーム開発ツール)	X	X		
IBM Rational Asset Manager 7.2.0.2 (アセット管理ツール)	X			

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

【参考】提供SWイメージとLicensing Models: 継続して拡張予定 (3/3)

SW Image Description	Licensing Model			
	BYOL	DUO	PAYG	Pre-Release
SWG WEBSHERE				
IBM WebSphere Application Server V7.0	X	X	X	
IBM WebSphere Portal Svr & Lotus WCM 6.1.5, 7.0.0	X	X	X	
IBM WebSphere sMash V1.1.1	X	X	X	
SWG TIVOLI				
IBM Tivoli Monitoring 6.2.2.1				X
SWG INDUSTRY				
IBM Industry Application Platform v1.0		X		
Cognos® Business Intelligence 10.1	X			

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

サービス内容

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

契約締結後からご利用開始までの流れ(1)

- アカウント管理者となられるお客様の情報を頂戴いたします。
 - VPNをご利用の場合は、ネットワークご担当のお客様の情報、ネットワーク構成に関する情報を別途頂戴いたします。
- IBMクラウド・センター側でお客様の登録作業が完了した後、アカウント管理者のe-mailアドレスに、「Welcome Kit」とユーザーIDが送付されます。
- Web Browserから <http://www.ibm.com/cloud/enterprise/> にアクセスします。
 - Web Browserは以下をご利用ください。
 - Firefox® Version 3.x,
 - Microsoft Internet Explorer® Version 7 and up.
- 以下の画面が表示されたらIBM ID用いてSign Inします。



© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

契約締結後からご利用開始までの流れ(2)

- 追加の管理者、クラウドの利用者のIDをManage user画面から登録します。



- 以上まで完了したら、仮想マシンのプロビジョニングが即時可能になります。
- なお、標準の利用者サポートとして、クラウド・サービス・フォーラムを設けております。
 - 利用される全てのお客様およびIBM相互の質問、ディスカッション、情報共有の場を提供いたします。
 - フォーラムを通じた技術サポートを提供いたします。(ポータル利用、インスタンスの作成、ミドルウェアのPAYG(従量課金)イメージ等に関して)
 - メッセージのモニタリング時間は以下で、営業日までの回答表示を目標とさせていただきます。
 - 米国東部標準時の月～金曜、AM9:00～PM5:00 (日本時間の午後11時～午前7時)
 - 現時点でサポートされる言語は英語のみです。

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

仮想マシンのアクセス

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

ケース1 GUIを持たない OSイメージ

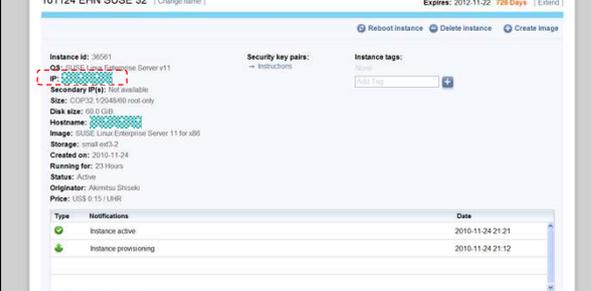
- GUIを持たない Linux サーバーなどをプロビジョニング
- Putty® を使って SSH でアクセス
- 例: SUSE Linux Enterprise Server

© 2011 IBM Corporation



101124 EHN SUSE 32 | Change name | Expires: 2012-11-22 728 Days | [Extend]

Instance ID: 30561
 OS: SUSE Linux Enterprise Server v11
 IP: 33.202.232.202
 Secondary IP(s): Not available
 Size: COP32.1.0548/60 root only
 Disk size: 80.0 GB
 Hostname: 33.202.232.202



Instance ID: 30561
 OS: SUSE Linux Enterprise Server v11
 Secondary IP(s): Not available
 Size: COP32.1.0548/60 root only
 Disk size: 80.0 GB
 Hostname: 33.202.232.202
 Image: SUSE Linux Enterprise Server 11 for x86
 Storage: local ext3.2
 Created on: 2010-11-24
 Running for: 23 Hours
 Status: Active
 Originator: Akimasa Shiozaki
 Price: US\$ 6.15 / 1HR

Getting started

Connect to Your Instance

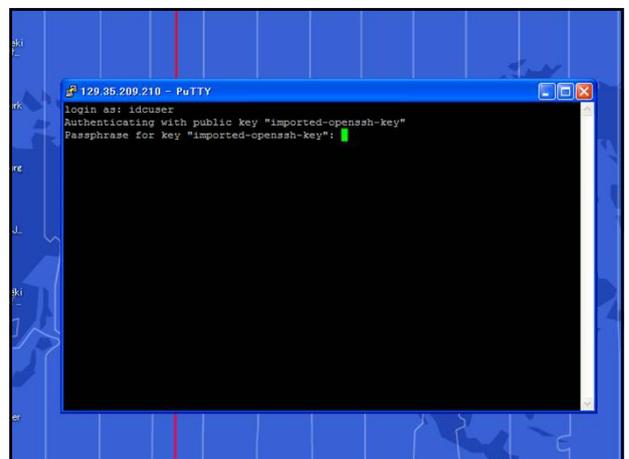
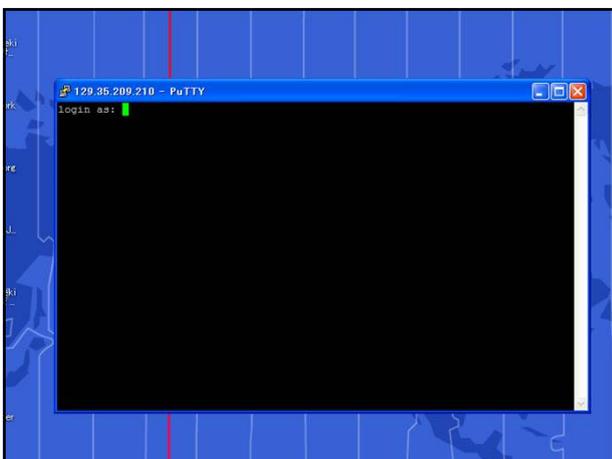
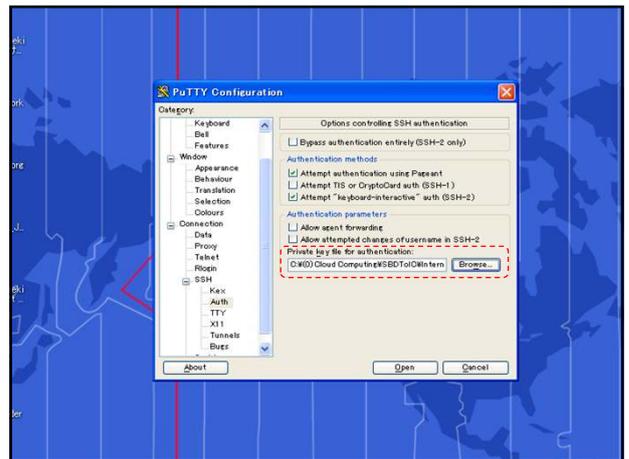
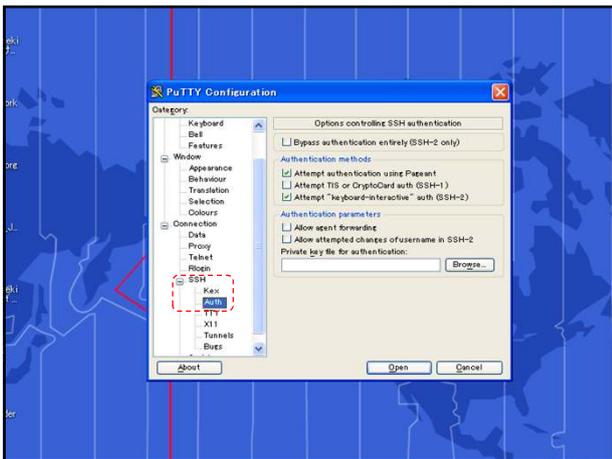
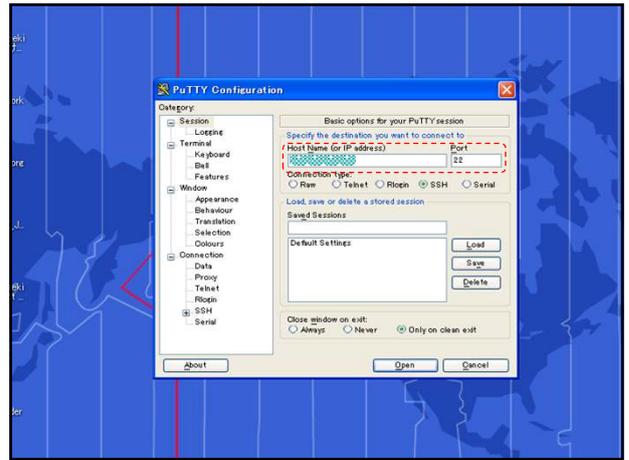
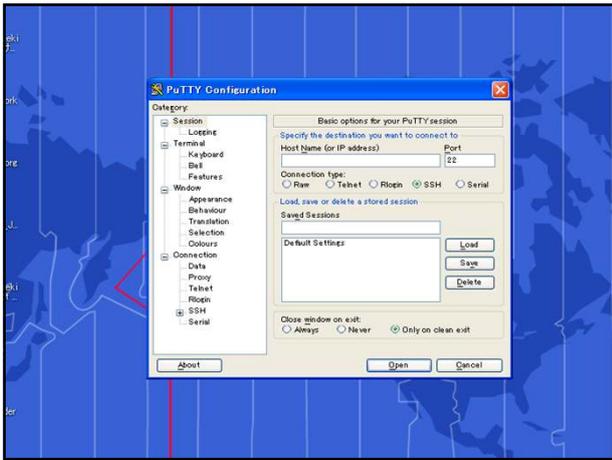
- Putty can be used for controlling the instance in a terminal.
- WinSCP can be used for transferring files.
- VNC viewer can be used for controlling the instance in graphic interface.

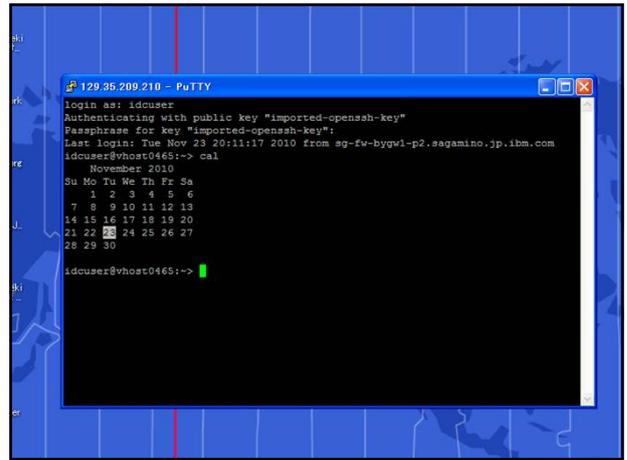
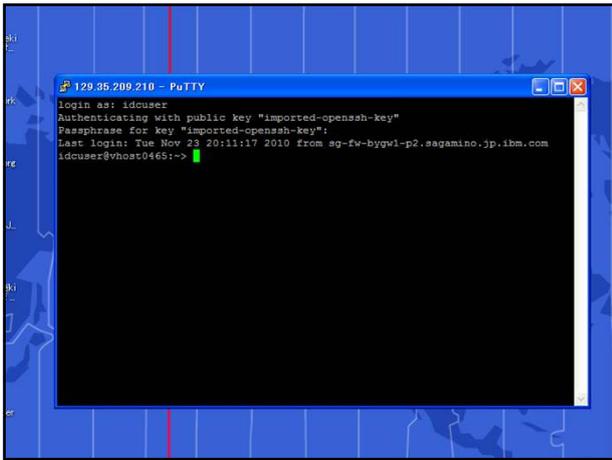
Log in on instance with your SSH private key

- Information about the key can be found in Account.
- You might have to convert the key into Putty format (.ppk) with PuttyGen.
- You are recommended to specify a passphrase for the key if prompted to.

See User's Guide for IBM Development and Test Cloud for more information about connecting to your instance.

Instance Details





Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

ケース2 Windows Server

- Windows Server をプロビジョニング
- リモートデスクトップ接続を使ってアクセス
- 例: Windows Server 2008 R2

© 2011 IBM Corporation

Instance name	IP Address	Created on	Running	Price/unit	Data Center	Owner	Status
101124 EHN SUSE R2	101124.000	2010-11-24	4 Days	US\$ 0.15 / UHR	EHN	sgp.ibm.com	Active
101124 EHN Win2008 R2	101124.000	2010-11-24	4 Days	US\$ 0.34 / UHR	EHN	sgp.ibm.com	Active
101126 EHN Domino RHEL R2	101126.000	2010-11-26	3 Days	US\$ 0.19 / UHR	EHN	sgp.ibm.com	Active

101124 EHN Win2008 R2 | Change name | Expires: 2012-11-22 758 Days | Extend

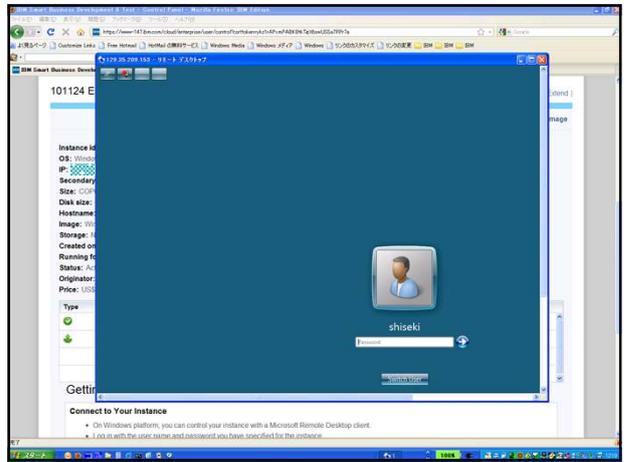
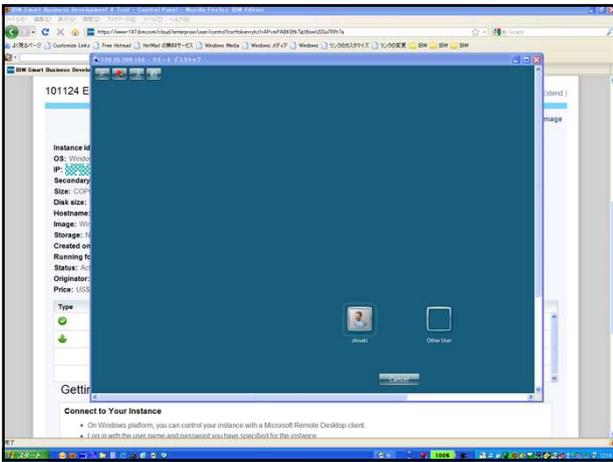
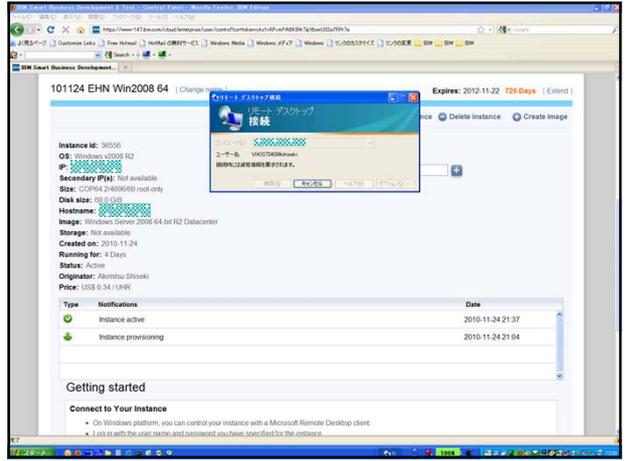
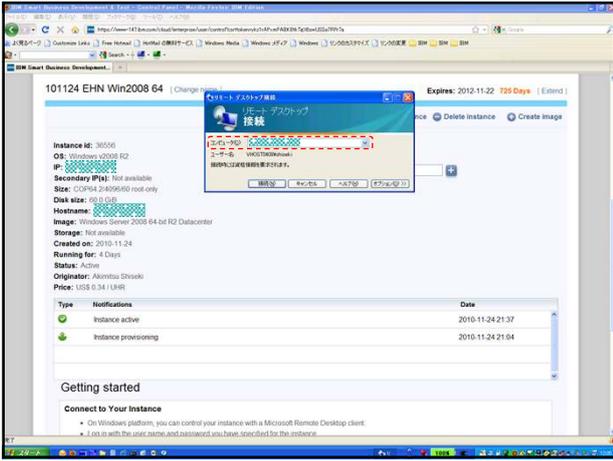
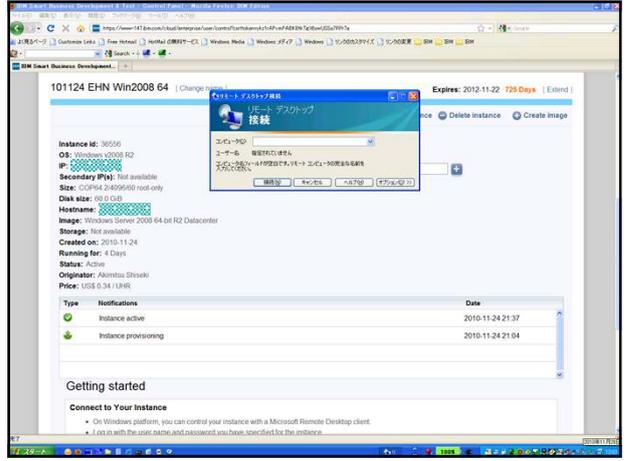
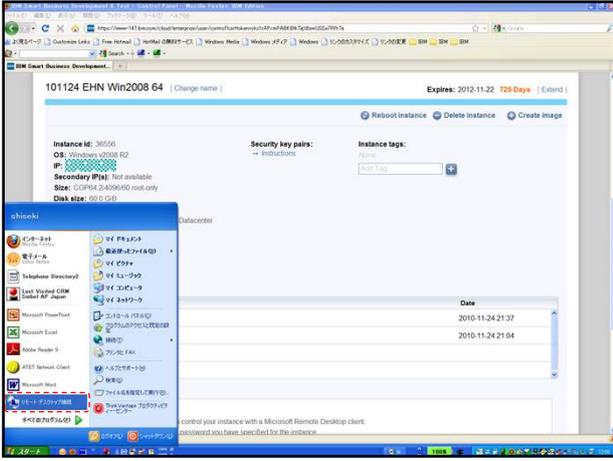
Instance ID: 36556
 OS: Windows Server 2008 R2
 IP: 101124.000
 Secondary IP(s): Not available
 Size: COPM4.2-409600 root only
 Disk size: 60.0 GB
 Hostname: 101124-000
 Image: Windows Server 2008 R2 Datacenter
 Storage: Not available
 Created on: 2010-11-24
 Running for: 4 Days
 Status: Active
 Originator: Akimbo Shiroki
 Price: US\$ 0.34 / UHR

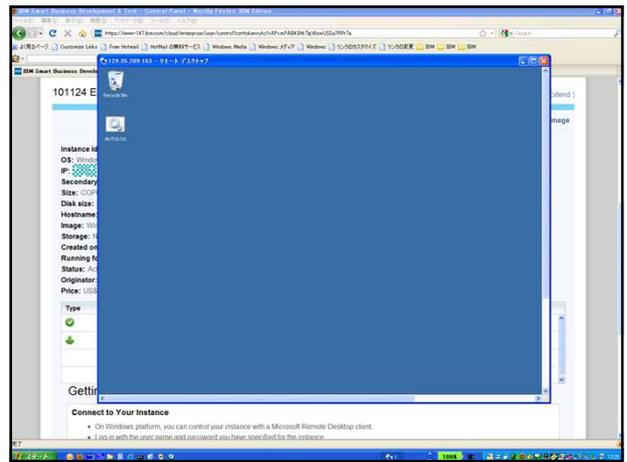
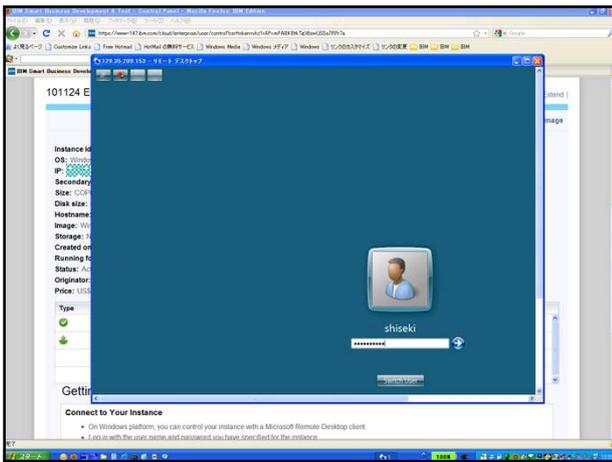
Getting started
 Connect to Your Instance
 image Details
 More about Microsoft Windows Server 2008 R2 (64-bit)

101124 EHN Win2008 R2 | Change name | Expires: 2012-11-22 758 Days | Extend

Instance ID: 36556
 OS: Windows Server 2008 R2
 IP: 101124.000
 Secondary IP(s): Not available
 Size: COPM4.2-409600 root only
 Disk size: 60.0 GB

control your instance with a Microsoft Remote Desktop client. password you have specified for the instance.





Smart Business Development and Test on the IBM Cloud

ケース3 Web サイト

- インスタンスとしてWebサイトが立ち上がるケース
- Web Browser から Host IP アドレスを指定してアクセスする
- 例: Rational Team Concert

© 2011 IBM Corporation

IBM Smart Business Development & Test console showing a list of instances. The instance '101124 EHN RTC' is highlighted with a red dashed box.

Instance name	IP Address	Created on	Running	Price/unit	Data Center	Owner	Status
101124 EHN Demo	10.243.209.152	2010-11-24	13 Hours	US\$ 0.19 / 1/HR	EHN	shiseki	Active
101124 EHN RTC	10.243.209.153	2010-11-24	14 Hours	US\$ 0.40 / 1/HR	EHN	shiseki	Active
101124 EHN SUSE 32	10.243.209.154	2010-11-24	13 Hours	US\$ 0.15 / 1/HR	EHN	shiseki	Active

101124 EHN RTC details: Instance ID: 30560, OS: Red Hat Enterprise Linux V5.4, IP: 10.243.209.153, Secondary IP(s): Not available, Size: COPM4-24096960, Hostname: shiseki, Image: IBM Rational Team Concert 2.0.0.2 - DUO, Storage: Not available, Created on: 2010-11-24, Running for: 14 Hours, Status: Active, Originator: Akimichi Shiseki, Price: US\$ 0.40 / 1/HR.

101124 EHN RTC details view showing instance information and a notification log.

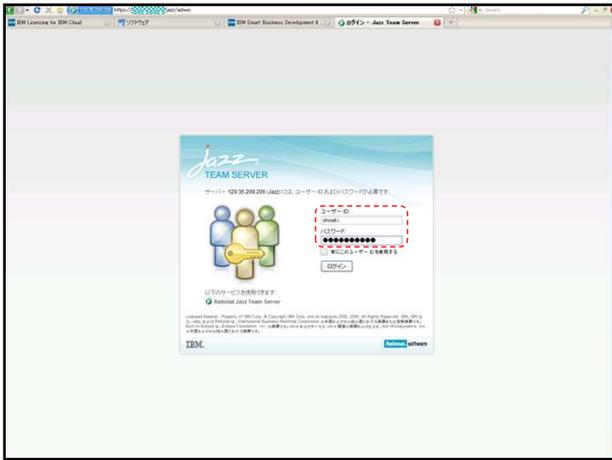
Instance ID: 30560
 OS: Red Hat Enterprise Linux V5.4
 IP: 10.243.209.153
 Secondary IP(s): Not available
 Size: COPM4-24096960
 Disk size: 100 GB
 Hostname: shiseki
 Image: IBM Rational Team Concert 2.0.0.2 - DUO
 Storage: Not available
 Created on: 2010-11-24
 Running for: 14 Hours
 Status: Active
 Originator: Akimichi Shiseki
 Price: US\$ 0.40 / 1/HR

Type	Notifications	Date
Instance active		2010-11-24 21:18
Instance provisioning		2010-11-24 21:10

Getting started
 Connect to Your Instance from Web UI
 • First time users login as ADMIN with the password you provided to complete the Jazz Team Server Setup. To enable users to use Rational Team Concert, assign Admin users to the Admin role.

IBM Smart Business Development console showing the Rational Jazz Team Server login screen.

Rational Jazz Team Server
 ユーザーID:
 パスワード:
 記憶するパスワード



Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

Smart Business 開発&テストクラウドサービス: まとめ

特徴	
セルフサービス・ポータル	グローバル分散クラウド
仮想化・自動化	IBMセキュリティ、認証モデル
コラボレーティブ開発環境	セルフサービス用ダッシュボード
イメージライブラリー	SLA (Service Level Agreement)
従量課金	バックアップ&リカバリー
拡張性 + 確実性	選択可能なサポートオプション

プラットフォーム デリバリー

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

Smart Business 開発&テストクラウドサービスが目指すところ

コストと信頼性のバランスが取れたシステム基盤を提供し、お客様のITコスト削減に貢献することを大命題としています

- 敷居が低い「料金体系」にしてスモール・スタートが可能な仕組みにしています
- オプションは外出しにしてお客様が必要なものだけ選択できるようにしています
- 最も適した用途はテスト環境あるいは開発環境用のサーバーですが、それに限定するものではなく、特徴をご理解いただいた上で様々な用途にご利用いただけます。

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

企業のクラウドが向かう先は グローバル・ハイブリッドクラウド

- クラウドはITの新しいソーシング形態であり、プライベートからパブリックまで多様なコンサンション・モデルを柔軟に組み合わせて利用することで最大の価値を引き出すことができます
 - 硬直的でビジネスニーズにマッチしないITストラテジー
 - 「我が社のITは全てプライベートクラウドにする」
 - 「我が社のITは今後全てサービスプロバイダーA社のパブリッククラウドにする」
 - 「我が社は一切クラウドコンピューティングを利用しない」
 - ビジネスの進化をスピードに支える柔軟なITストラテジー
 - 「我が社はプライベートクラウド、パブリッククラウドを適材適所で利用する」
 - 「エンドユーザーには統合された適時的なサービスを提供する」
 - 「部分最適から全体最適へ、グローバルに標準化を推進する」
- これを満たすのがグローバル・ハイブリッドクラウドです
 - プライベートクラウドとパブリッククラウドのセルフサービスポータル上での統合
 - プライベートクラウドとパブリッククラウドのネットワーク上での統合
 - イメージライブラリー管理 → 自社標準SWアプライアンスの展開
 - グローバルなユーザー管理 → 分散DCと一元管理

© 2011 IBM Corporation

Smart Business Development and Test on the IBM Cloud IBM

"Every human being, company, organization, city, nation, natural system and man-made system is becoming interconnected, instrumented and intelligent. This is leading to new savings and efficiency—but perhaps as important, new possibilities for progress."

© 2011 IBM Corporation

